



※1年のふりかえりの大切さ

皆さんこんにちは。3学期もあつという間に最後の月にさしかかり、2022年度も残すところあとわずかとなりました。1・2学期と比べると、子どもたち一人ひとりの力や学級集団としての力も大きく成長したことをひしひしと感じ、とても嬉しく思います。

また、これまでコロナウィルスの影響で制限されていた対面での全学年による集會も叶い、日常が戻ってきているように感じます。長く開催を見送っていたランタナ祭や授業参観なども実施され、子どもたちの成長を感じられる機会が増えてきました。3学期は1年間のまとめの時期です。子どもたちに残された時間で、1学期に立てた目標をどのくらい達成できたか、また、見えてきた課題は何かなどをじっくり考える期間にしてほしいです。今月は目標達成へ向けたご褒美の活用について取り上げていきます。

ご褒美の活用 -アンダーマイニング効果-



「アンダーマイニング効果」を知っていますか？

アンダーマイニング効果とは、「役に立ちたい」「達成したい」という内発的動機付けにより行動したことに対して、「報酬を与えられる」「圧力をかけられる」などの外発的動機付けにより、やる気が削がれてしまう心理現象です。物質的な報酬以外にも、罰則、締め切りの設定、監視、競争、評価などの要因もあげられます。

内発的な動機	外発的な動機
◆好奇心や興味によってもたらされるやる気のこと。子どもの内部から湧き出る力が原動力に。	◆外部からの力に誘引されて出るやる気。例えば、義務、賞罰、強制など。

例えば、好んで勉強をする子に「100点とったら〇〇を買ってあげる」などにご褒美を与えてしまうと、ご褒美なしでは勉強をしなくなってしまうかもしれません。この効果は、子どもほど影響が大きいことも特徴的です。

やる気を引き出すためであれば、ご褒美は有効です。ただし、相手の内発的な意欲が高まってきたなら、ご褒美が目的にならないように、あたたかく見守ることが大切です。

ご褒美を活用する際のポイント

- ①その日で完結するご褒美が有効
- ②子どもが好きでやっていることに対しては、ご褒美は必要ない
- ③言語的な報酬(期待や賞賛の言葉)は、自己決定力や有用感を育むため有効



先月の笑顔テーマ

先月の笑顔テーマは「今年1年の抱負」でした。それぞれ「漢字をたくさん覚える」「絵をたくさん書いてうまくなりたい」など一年を見通して、目標を立てていました。次の一年で心も体も大きく成長する子どもたちが楽しみですね。





シウヨン

笑顔だより

With a smile

For Kids

2・3月号

ほんこんにほんじんがっこうたいぼこう
香港日本人学校大埔校

シウヨンきょうしつ
笑顔教室だより

令和5年2月28日

たんとう きんじょうあや か
担当 金城彩夏

あっという間の1年間

たいぼ こ
大埔っ子のみなさん、こんにちは。3学期は1年のしめくりになります。4月や3学期の初めに
た もくひょう
立てた目標はどのくらい達成していますか？今一度自分と向き合う時間をつくり、次の学年へつな
だっせい
げましょう。



みなお もくひょうを見直そう！

▶ 4月や3学期に立てた目ひょうを見なおしてみましょう！

今どのくらいたっせいしているか、100%たっせいさせるためにどうするかなどを考えてみましょう。

★^{もくひょう}目標とその^どたっせい^み度を見なおしてみましょう。

学習(がくしゅう)	生活(せいかつ)	運動(うんどう)
例:漢字をきれいにかく	例:早起きをがんばる	例:体力をつける

() %たっせい () %たっせい () %たっせい

★100%たっせいするために、ひつようなこと^{かんが}を考えよう！

学習(がくしゅう)	生活(せいかつ)	運動(うんどう)
例:とめ・はねを意しきする	例:10時までになる	例:休み時間に体を毎日動かす



みんなのギャラリー展

3学期のみんなのギャラリー展もたくさん
のすてきなイラストが集まりました。1つの作品
を学年をこえて協力してかく子たちや、「6年生
ってやっぱりすごいなあ」と絵を見て感動する
すがたが印象にのこっています😊

